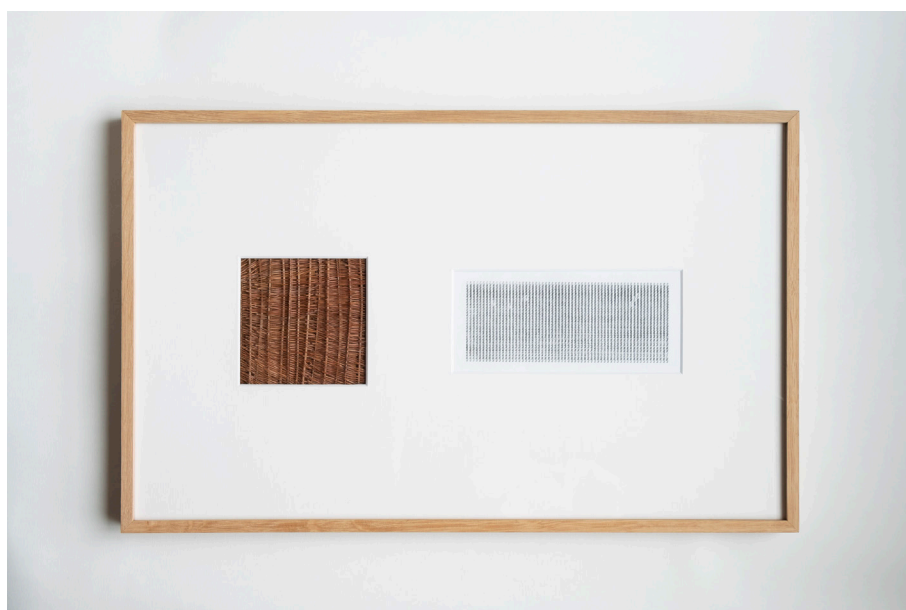


「Coloured Feeling - 色とりどりの世界」はミケランジェロ・アントニオーニの映画「赤い砂漠(原題: *Il deserto rosso*, 1964)」へのオマージュとして制作された。荒廃した工業地帯に暮らす女性の心理的变化に迫った、静かながらも心に迫る作品である。植物は枯れ果て、雪景色の工業地帯に色はない。カラー映画でありながらモノクロで描かれたようである。アントニオーニは、役者の背景に映る枯れ木に着色を施し、それぞれの心理情景を描き出した。

およそ半世紀を経た舞台の町イタリア・ラヴェンナを訪れた時、その町が緑輝く健康的な都市に蘇りつつあることを知る。一見病気を得たように見えた萎んだ松ぼっくりを持ち帰ったが、しばらくの後に大きく開いたそのモチーフを、再生の象徴として作品の一部に取り込んだ。



Silk Screen
Paper size: 320 x 260 mm
2016



Pine needles, Typewriter
Frame size: 320 x 520 mm
2016



C-print / 670 x 450 mm / 2018



C-print / 450 x 300 mm / 2018